



飛田安兵衛翁の功績をたたえる

播州織の礎を築いた飛田安兵衛翁の功績をたたえる「岡の山まつり」が開催され、播州織業界の関係者や地域住民などが参加しました。

江戸時代に京都から織物の技術を導入した先人の遺徳をしのび、参加者は翁の顕彰碑に献花を行い、感謝の言葉を述べました。顕彰祭の後には、行者による護摩供養が行われ、播州織の振興と参加者の心身の安全を祈願しました。〔5月3日／岡之山公園〕



イチゴを片手に親子でマラソン

野間川芳田公園を発着点に「いちごの里親子マラソン」が開かれ、市内外から親子連れなど約200人が参加しました。

芳田自治協議会が地域を盛り上げるため、地元で採れるイチゴを活用し、交流促進を目的に開催しているもの。春の日差しの中、参加者はコース上の給水所ならぬ給食所で受け取った地元産の新鮮な甘いイチゴを味わいながらマラソンを楽しみました。〔4月25日〕



兵庫三菱硬式野球部一初 の対外試合は黒星

市内に活動拠点を置き、4月に創部した兵庫三菱自動車硬式野球部が、都市対抗野球大会の強豪、三菱自動車倉敷オーシャンズ（岡山県）を相手に、チーム結成後初めての対外試合に挑みました。

試合は中盤まで互角の展開。選手たちは最後まで集中力を切らすことなく全力でプレーし続けましたが、終盤に突き放されて惜しくも敗戦。

キャプテンの北口祥夢さんは「試合を経験して、多くの課題が分かった。さらに練習に励み、市民の皆さんから応援していただけるチームに成長したい」と振り返りました。

監督を務める野波尚伸さんは「チーム始動の最初の一步。都市対抗野球大会での優勝に向けて、練習にどのように取り組むかが大切」と公式戦へ向けて意気込みました。〔4月29日／黒田庄ふれあいスタジアム〕



地域彩るTUMALシェ

快晴の空をこいのぼりが泳ぐ中、津万自治協議会主催の「TUMALシェ」が開催され、多くの人でにぎわいました。生演奏を聞きながら出店の味を楽しむなど、心弾むひとときを過ごしました。〔5月5日／みんなの家あじさい〕



市内産イチゴが給食に

地元食材を知ってもらおうと、小中学校の学校給食に市内産のイチゴを使ったジャムが登場。児童らはジャムを付けたパンを口にして「甘くておいしい」と話し、おかわりの列ができました。〔5月16日／西脇小学校〕



商店街に笑顔あふれる

「100円買楽商店街」が、西脇しばざくら通り商店会で開催されました。店舗前に100円から楽しめる商品販売やミニゲームなどが出店。初夏の陽気の中、親子連れを中心に、通りは歩く人でにぎわいました。〔5月10日〕



春の恵みを味わう

ええまち比也野里と市観光物産協会が主催するたけのこ収穫祭が開催されました。家族連れや大阪から訪れたバスツアー客が達人の指導を受け、土から顔をのぞかせるたけのこ掘りに挑戦。苦戦しながらも次々と掘り出しました。収穫体験後には、採れたての新鮮なタケノコを使った料理に舌鼓を打ちました。〔4月25日／高嶋町〕



「大きくなあれ」と願いを込めて

北はりま旬菜館の職員が日野こども園を訪れ、夏野菜の植え付け指導を行いました。子どもたちは食物の大切さについての話を聞いた後、土のひんやりとした感触に歓声を上げながら、自分で選んだ野菜の苗を丁寧に植えました。おいしく育つよう願いを込めてプランターに水をやり、収穫を楽しみにする姿が見られました。〔5月8日〕